医療法人春風会 田上記念病院 広報誌

春風だより

はる かぜ

2024年
No.22

特集

新年のご挨拶

巻頭言……2
各部署より新年のご挨拶……3
新病院News……7

巻頭言

医療法人 春風会　理事長
田上記念病院　院　長　**中村　浩一郎**

元旦に能登半島地震、翌日には日本航空と海上保安庁の航空機接触事故が発生し、年初から大変な１年となりました。地震で被災された方々に心からお見舞い及びお悔やみを申し上げます。

2024 年の干支は「甲辰（きのえたつ）」です。「きのえたつ」は十干の「甲」と十二支の「辰」との組み合わせで、「辰」という字は振・伸・震と相通じる意味を持つそうです。非常に騒がしい動揺がある中、活気が生まれ草木が伸びるものの、もう一つ実りがない。まかり間違えば、思いがけない変動や災禍（地震など）を生ずる。「理想に向かって辛抱強く、かつ慎重に、いろいろな抵抗や妨害と闘いながら歩みを進めていく」という意味があるそうです。

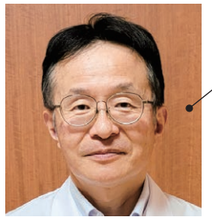
「十干」には「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」があり、このうち「甲」は、鎧・兜の意味で、甲冑の甲から生じた象形文字だそうです。甲の字形は、内を固めて守り、これからの戦いに備えるという意味で、寒さのために草木の種子が地中にあって、殻（よろい）を被って発芽することができずにいた芽が、その殻を破って頭を少し出して、まさに伸び始めようとする状態のことを表すそうです。

つまり「甲辰」の意味するところは、ちょうど春になって、草木の芽がその殻を破って頭を少し出して伸び始めようとするが、まだ寒さが厳しくて、勢いよくその芽を伸ばすことができないのと同じように、「旧体制の殻を破って、革新の動きが始まらなければならないのだが、いろいろな抵抗や妨害があるため、その困難と闘う努力をしながら、慎重に歩みを進めていく」という意味になります。

当院の状況は、まさにこの内容に相応しい状況だと思います。この 1 年は、現在の古い体制を変革し地域の期待に応える高い機能を備えてゆく時期と考えます。新たなサービスを提供するために努力を重ね、2025 年を迎えなければならないと感じております。

我々は、患者様や職員が未来を実感できる医療を目指します。厚生労働省は病院の DX（デジタルトランスフォーメーション）を今後進めてゆくと明言しています。看護師には各種ロボット（センサーベッド）や患者見守りを行う AI カメラなどで看護勤務に優しい環境を、薬剤師には AI による薬剤監査システムを活用し余った時間で病棟患者様へ接する時間を増やす工夫を、放射線技師には AI による画像診断アシスト等々、進化する病院環境を検討中です。最後に、最新のエビデンスに基づいたロボットリハビリテーションを大々的に導入し、患者様に「治る」リハビリテーションを実感できる病院にする覚悟をお伝えし、巻頭言といたします。

医局



亀澤 康裕 医局長

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。当病院は、脳神経内科、循環器内科、消化器内科、リハビリテーション科、歯科を中心に、多彩な診療科の医師が結集し、患者様の幅広い症状に対応するプライマリケアの中核として活動しています。

新年を迎えるにあたり、私たちは次の抱負を掲げます。第一に、患者様へのサービス向上です。必要な際には、最適なセクションへの紹介や高度な専門医療機関との連携を通じ早期治療を実現し、患者様の健康に寄り添います。第二に、後方支援の役割も果たし、患者様の療養・リハビリを支え、スムーズな家庭復帰をサポートします。どんな症状やお悩みも、お気軽にご相談いただければと思います。さらに、健康な未来への一歩を踏み出すお手伝いを強化します。私たちは、医療スタッフと患者様との共通の目標である健康と幸福を実現するため、病院全体が協力し、信頼できる医療提供を続ける決意です。

新たな年が、皆様にとって希望に満ちたものであり、健康な未来へのステップアップを支援する年となることを心より願っております。

リハビリテーション部

理学療法士
川上 剛 部長

今年の干支は「辰年」ですが、辰年は大きな変化が起きることが多いとされ、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。昨年リハビリテーション部は「地域に根差した、暮らしを支えるリハビリテーション」を理念に、社会の様々な変化に後れを取らないよう積極的に活動して参りました。今年は病院機能評価受審や新病院移転に向けた準備など、リハビリテーション部にも大きな変化が訪れようとしています。患者様やご家族様にご満足いただける、より質の高いリハビリテーションサービスが提供できるように研究活動、学会発表など、日々自己研鑽に努め、先端的リハビリテーションの構築を目指して参ります。本年も引き続き、ご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

看護部

看護師
雨田 真吾 師長

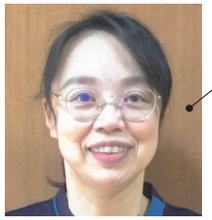
看護部は20代から70代まで各世代が活躍し、子育てやワークライフバランスによって働き方も様々です。若い世代が大先輩からアドバイスをもらったり、逆の刺激も受けたり、仲良く仕事をしています。

また昨年、3名の新卒看護師を迎え入れることが出来ました。悩みながらも着実に成長する姿に私たち自身、励まされ、そして心から喜びを感じた年でした。今後も目指すべき姿に向かって看護の道を歩んでもらえるよう支援していきたいと思います。

さて、今年は病院機能評価受審の年であります。これまで「患者中心の医療の推進」に向けた質改善活動に取り組んで参りました。質改善活動は、平坦な道のりではありませんが、私たち医療従事者に課せられている責務として今後も継続して活動を展開して参ります。

本年も看護部職員一同、患者様やご家族様の思いに耳を傾け、心の通う看護を目指して努力していく所存です。

地域連携室



看護師
得田 ひじり

当院の地域連携室は、地域医療機関の連携強化と病院稼働85％を達成するため、急性期医療機関などを訪問し交流を図っております。この訪問のおかげで患者様の紹介数が増えたので、これからも継続的に医療機関と関係を深めていきたいと思っております。また、地域医療の窓口として医療機関と連携してご紹介を頂いた患者様がより良い医療サービスが受けられるよう今年も取り組んでまいります。相談窓口ではご相談に来られた患者様・ご家族の不安や悩みを聴き、各種制度の手続きや各関係機関との連絡・調整を行い問題解決のお手伝いを引き続き行ってまいります。ソーシャルワーカー、看護師がおりますのでお気軽にご相談頂下さい。さらに、緩和ケアや入退院支援ルールなど部署内での勉強会を企画開催していき、職員の自己研鑽に微力ながら貢献できればと考えております。

薬局

薬剤師
福田 満弘 主任

わたしたちは、「くすりのあるところに薬剤師」をモットーに、安心・安全で質の高い薬剤業務を行っており、多職種と連携しながら活躍の場を広げています。

薬剤師の業務は、内服薬、外用薬、注射薬の調剤業務から当院に入院された患者の持参薬の鑑別業務、病院内の定数配置薬等の薬剤管理業務、感染対策委員会などの各種委員会等の参加、医薬品の安全管理業務など多岐にわたります。

地域に密着した良質な医療に貢献できるよう自己研鑽に努め、医薬品の情報提供などを通じて患者様のお役に立てるよう、また、不必要な薬を飲んでいる患者様に適切な薬を提供し体への負担を少しでも減らせるよう、地道にできることから取り組んでまいります。

放射線科

診療放射線技師
鳥原 一朗 主任

放射線科は『当院の理念を受け、エビデンスに基づき様々な角度から患者本意の医療画像情報の提供を行います。』という理念を掲げ、主に一般X線撮影・骨密度検査・CT・MRIなどの画像検査を行っております。またCT・MRIの画像診断においては、遠隔画像診断システムを活用し担当医と専門医のダブルチェック体制となっております。2024年の干支「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するもので、「龍が現れるとめでたいことの前触れである」と伝えられています。当院でも変革の年となり、職員・利用者にとって喜ばしいことが起こる予感がします。来年4月には、新しく病院が開院します。患者様に一層安心・安全な検査を受けていただけるよう、放射線科でもMRIやレントゲンなどの機器を一新するべく調整しております。これまでと同様に迅速・正確な画像提供ができるよう自己研鑽に努め、龍の如く猛々しく新しいことに挑戦する年にしたいと思います。

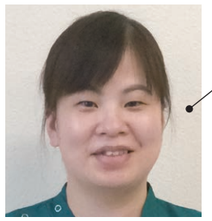
栄養科

管理栄養士
山崎 りさ

栄養科では患者様ひとり一人に適切な栄養管理を行い疾病の予防や療養に努めています。全入院患者を対象に栄養状態の評価及び栄養管理計画書を作成し、栄養委員会やNST（栄養サポートチーム）活動、褥瘡（じょくそう）委員会等の活動を通し、患者様の適切な栄養管理を行っております。また患者様・ご家族への入院栄養指導や、外来栄養指導を実施し自宅でも食事療養が出来るような工夫を紹介しています。

患者様から「食事がおいしい」「こういう食事が食べられて嬉しいです」といった喜びの声や感謝の言葉を頂くことが何よりの励みとなっています。これからも、患者様の食事の安心安全のもと満足を向上させることをモットーに、「食事ができない患者様ができるようになるまで」サポートしていけるよう、食を通して患者様の入院生活がより良いものになるよう、栄養科一同一丸となって取り組んでまいります。

臨床検査科



臨床検査技師
内野 久美子

臨床検査科は昨年、検査技師が1人増え2名体制となりました。病院勤務経験のある職員を迎え、業務のスピードアップや検査内容の充実を図ることができました。業務内容は主に検体検査で、血液一般、CRP、血液ガス、血液凝固、尿、迅速キットを使った検査です。正確な検査結果を迅速に報告できるよう2人で協力しているところです。精度の高い検査結果の提供のために院内での精度管理や、外部の精度管理調査に参加し検査データの保証にも努めています。私たちは専門性の高い知識を活かして、感染対策委員会、リスクマネジメント委員会等の各委員会にも積極的に参加しています。今年も昨年同様、専門的知識を患者様にフィールドバックし、良質な医療の提供のため検査科として知識・技術の向上に日々取り組んでまいります。

歯科

歯科衛生士
迫 由美子

当院は開業当時より歯科室を開設しています。昨年は職員も1人増え、口腔ケアの重要性の認識のもと、多職種連携に力をいれました。病棟の患者様はもちろん、田上苑、松恵園などの関連施設での口腔ケアを実施し、誤嚥性肺炎の予防や口腔内環境の維持、口腔機能の改善に取り組んでおります。また、長きにわたり西歯科医院の皆様とともに、虫歯・歯周病の治療・義歯作製等の一般歯科および定期検診、クリーニングなどのオーラルケアの指導も行っています。今年はさらに各病棟との情報共有を密にしていきたいと考えています。十分なカウンセリングと分かりやすい治療方針をモットーとし、患者様に寄り添い心の通い合える関係を心掛けていく決意です。歯科の専門的知識と技術を持つ歯科衛生士が所属するメリットを活かし、患者様やご家族様に安心して頂けますよう、より一層精進して参ります。

通所リハビリテーション

理学療法士
池畑 喜実成 主任

当事業所の特徴は広大な敷地で行う屋外歩行と趣味活動としての園芸療法です。昨年は利用者様のアドバイスを得て土づくりがうまくいき、ピーマンやしそ、なすなど夏野菜が大豊作でした。種まきから収穫まで一連の流れが利用者様の充実感や認知機能の維持、向上に役立ちました。屋外歩行は、坂道や砂利道、階段など一人では危険で行えないような訓練ができ、外出に自信がもてるようになります。加えて、集団体操やマシーントレーニング等、身体機能を高める運動プログラムも充実しています。昨年後半にリハビリ担当の職員も増えましたので、今年はますます利用者様の身体機能の改善をはかります。また、利用者様の人数をコロナ前の水準に戻すべく当事業所のアピールをして営業活動にも力を入れたいです。利用者様が在宅生活を長く続けて頂けるよう職員一同支援に精進にいたします。

託児所

保育士
田淵 まどか

託児所「よいこの家」は現在、0歳から3歳までの園児十数人が利用しています。昨年は0歳児が4人いて、遠出の園外保育は難しい状況でしたが、病院の行事に参加したり、院内の庭の芋ほりをしたり、子供たちの成長に合わせた保育を実践しました。託児所独自の季節の行事や、職員が集めてきたどんぐりを庭にまき、どんぐり拾いを楽しむなど、心身共にすくすくと成長できるような保育を工夫しています。今年は園外保育なども企画したいと考えておりますが、子供たちの成長と健康、安全を考えながら取り組んでいきます。子育て中の職員が安心して仕事に集中できるよう精いっぱいサポートしていきたいと思っています。年が明け、気持ちを新たに職員一同努めて参ります。ご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

事務部

針山 博之 事務長

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。私たち病院の事務部一同は、皆様にとって素晴らしい年であることを心より願っております。

事務部は、病院全体の円滑な運営を支えるため、患者様の受付、予約管理、病院内の情報伝達など、多岐にわたる管理業務を担当しています。また、医療スタッフと患者様との良好なコミュニケーションにも寄与し、高品質な医療ケアの提供をサポートできるよう常に努力してまいります。

今年は、病院機能評価の5年に一度の更新審査の年です。「認定病院」になるべく一丸となって努めていきます。さらに、2025年の病院移転に向けて万全の準備を行う大切な年です。新しい病院への移転は、より快適で効率的な医療環境を提供し、患者様の健康と幸福を後押しするものです。この新たなステップに向け、私たちは全力を傾け、準備を整える決意です。

事務部
新病院News

TOPICS 01

＼新病院の名前が決定！／

「みらいリハビリテーション病院」

名前に込めた思い

①未来志向のリハビリを中心にした病院

②患者様が未来に向けてよくなり自分の生活に戻れること

TOPICS 02

インスタグラムを開設

インスタグラムを開設しました。
工事の進捗状況や新情報などを
随時アップしています。

いいね♥とフォロー
お願いします

MIRAI_REHABILITATION_HOSPITAL

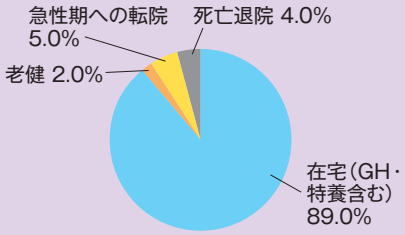
TOPICS 03

デザインシートを設置

工事現場の仮囲いにデザインシートを
設置しました。

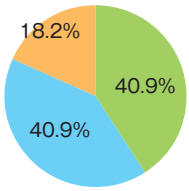
回復期リハ病棟診療統計データ（2023年4月～2023年9月）

退院先割合



※死亡・急性期への転院を除く在宅復帰率…97.6%

疾患別退院患者割合



	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、腕神経叢損傷等の発症または手術後、義肢装着訓練を要する状態（高次脳機能障害を伴った重度の脳血管障害、重度の頭髄損傷、頭部外傷を含む多部位外傷の発症又は手術後）
	大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節、2肢以上の多発骨折
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候群
	大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷

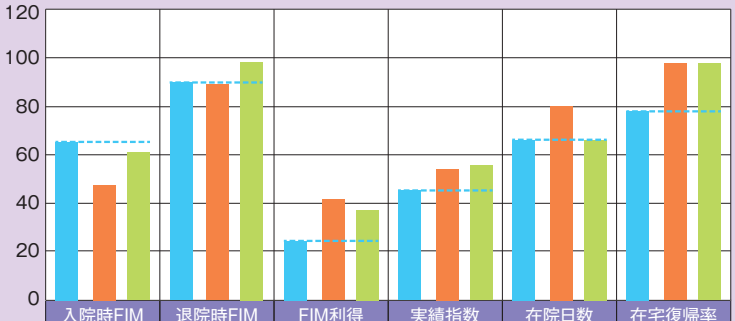
回復期リハビリテーション病棟 退院患者データ

	脳血管系		整形外科系		廃用症候群		全体	
	当院	全国	当院	全国	当院	全国	当院	全国
入院時FIM（平均）	71.0	59.5	56.9	70.7	43.6	56.4	61.0	65.3
退院時FIM（平均）	106.7	83.5	89.7	96.4	97.4	74.7	98.3	89.8
FIM利得（平均）	35.7	24.0	32.8	25.7	53.8	18.2	37.3	24.5
実績指数	70.1	54.1	47.3	44.1	51.0	36.0	55.6	45.3
在院日数	71.9	81.6	55.1	55.0	79.0	54.3	66.2	66.2
在宅復帰率							97.6	77.9

全国データは回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書を引用(一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会2023年2月23日発行)

※実績指数:回復期リハビリテーション病棟における直近の実績指数（平成28年3月4日保医発0304第3号）別添1第 1章第2部第3節A308（12）イに示す方法で算出

回復期リハビリテーション病棟実績



	入院時FIM	退院時FIM	FIM利得	実績指数	在院日数	在宅復帰率
全国平均	65.3	89.8	24.5	45.3	66.2	77.9
2023.1月～2023.6月	47.4	89.0	41.6	54.0	80.0	97.6
2023.4月～2023.9月	61.0	98.3	37.3	55.6	66.2	97.6

※**FIM（機能的自立度評価表）**：実際に行っている日常生活動作の能力を評価したものです。全18項目を介護量に応じて完全自立～全介助までの7段階で評価します。点数が高いほど自立度が高くなります。

※**FIM利得**：日常生活動作能力の改善値を示しています。（退院時FIM－入院時FIM＝FIM利得）

春風だより 2024年 No.22 発行：医療法人春風会 田上記念病院

医療法人 春風会

田上記念病院

〒890-0033 鹿児島市西別府町1799番地

TEL：**099-282-0051** FAX：**099-282-6600**

地域連携室 TEL：**0120-83-0051** **院長：中村浩一郎**

メールアドレス **info@shunpukai.com**

診療科目

内科，循環器内科，消化器内科，脳神経内科，膠原病内科，心療内科，泌尿器科，リハビリテーション科，歯科

診療時間

午前／**9:00～12:30** 午後／**2:00～5:30**

交通アクセス

●お車でのご来院 鹿児島ICより松元方面へ約5分
鹿児島中央駅より約15分

●バスでのご来院 鹿児島中央駅からご利用の場合：
南国交通バス／鹿児島中央駅東口18番乗り場
【池田高校前】行き、【石谷】行き、【下入佐】行き、
【飯牟礼郵便局】行き、池田高校前バス停下車 徒歩約5分

介護老人保健施設
ナーシングホーム田上苑

〒890-0032
鹿児島市西陵6丁目21-18
TEL：**099-283-0120**
○介護老人保健施設（老人保健施設）
○短期入所療養介護（ショートステイ）
○通所リハビリテーション（デイケア）

介護付有料老人ホーム
クレセール天保山

〒890-0056
鹿児島市下荒田2丁目39-1
TEL：**099-806-0033**

介護支援事業所 はるかぜ

〒890-0056 鹿児島市下荒田2丁目39-1
TEL：**099-812-4305**

グループホーム（認知症対応型共同生活介護／介護予防）
春風会グループ・きららグループ

（提携特養）

特別養護老人ホーム やすらぎの里（社会福祉法人みらい）
〒899-5543 鹿児島県姶良市下名2992
TEL：**0995-65-1641**

特別養護老人ホーム 松恵園（社会福祉法人みらい）
〒890-0033 鹿児島市西別府町1920
TEL：**099-282-7520**

ホームページ **https://tagamikinen-hp.jp/**